

毛利氏時代の氷上山興隆寺修二月会しゅにがつえ

～卷子表装に使われた「興隆寺文書」～

専門研究員 田村杏士郎

はじめに

- 氷上山興隆寺とは
- 「興隆寺文書」について
- 表装からみつかった「興隆寺文書」

1 大内氏時代の二月会

- 1-1 二月会はいつから始まった？
- 1-2 二月会の開催準備
- 1-3 役の決定
- 1-4 脇頭・三頭の予定表
 - 「一九年一巡の原則」(森 1998)
- 1-5 役に課される
- 1-6 頭役の負担と優遇
- 1-7 二月会で行われていたこと
- 1-8 二月会により願ったこと

2 毛利氏時代の二月会

- 2-1 継続される二月会
- 2-2 差文にみる二月会の変化

3 卷子表装に使われた「興隆寺文書」にみる二月会

- 3-1 ○と●
- 3-2 「修二月会射手」
- 3-3 いつの資料か？
- 3-4 毛利氏時代の二月会「歩射」
- 3-5 卷子表装に使われた「興隆寺文書」



興隆寺文書 19(表紙見返し)

おわりに

参考文献

森茂暁「周防国氷上山興隆寺修二月会についての一考察 ―修二月会頭役差定状を素材として―」(『日本中世史論集』勉誠社 2024年9月 初出『福岡大学人文論叢』30-3 1998年12月)

伊藤幸司「大内氏の菩提寺」(大内氏歴史文化研究会編・伊藤幸司責任編集『大内氏の世界をさぐる 室町戦国日本の覇者』勉誠出版 2019年7月)